



盲人のための国際
シンボルマーク

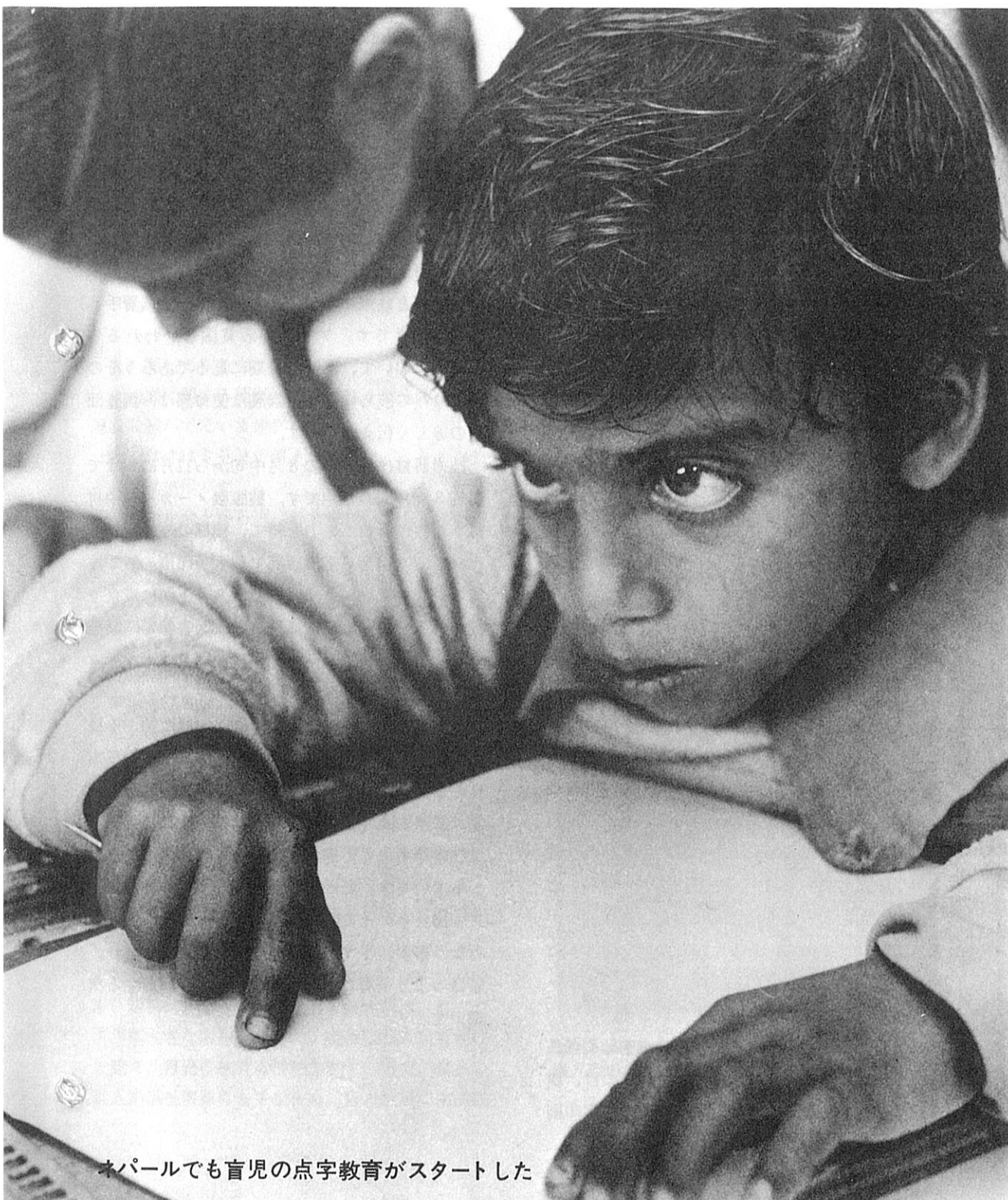
愛の光通信

No. 1

1986年

昭和
61年

東京ヘレン・ケラー協会
海外盲人援護事業事務局



ネパールでも盲児の点字教育がスタートした

ネパール盲人援護事業計画の概要

海外盲人援護事業事務局長

井口 淳

かねてより懸案となっていたネパール王国への盲人実情調査団の派遣が、昨年12月によりやく実現しました。今日までご支援ご協力を頂いた各方面に対して、改めてお礼を申し上げます。

既に、今年1月18日に行ないました報告会、あるいは同日付けの毎日新聞夕刊の報道によって、広く皆様に知られる所となっていますが、私共ではネパール王国政府及び、ネパール盲人福祉協会と共同で、盲人教育に関する技術援助を開始する事となりました。それは、現地の調査によって、盲人福祉事業が本格的に始まったばかりであること、そしてその為に今、最も必要とされている仕事、盲児童達の為に点字教科書の出版である事などが判明したからです。

発展途上国に対する技術援助にあたって、私共は幾つかの点を重要視してきました。それは、提供する技術が効果的にその国へ定着していくこと、そして、その為の受け入れ態勢がしっかりしている事などです。1983年、シンガポールで開催されましたアジア盲人会議の折、私は香港の盲人施設を見学する機会を得ましたが、そこには故障したままで使えなくなっている外国製の製版機が放置されていました。修理ができる技術者がいないとの事でした。このような善意と資源の無駄使いがあってはなりません。そうした不合理を避けるために、私共は援助計画の中心に、わが国でネパールの技術者を要請する事を据えています。

来日されるネパール盲人福祉協会点字印刷部長のパント氏は、インドで製版技術を身につけ、現在点字タイプライターを使って少部数の点字印刷

物を供給しているベテランです。ネパール側の受け入れ態勢につきましては、幸いにして、医学や教育の分野の高名な指導者の皆さんによって、ネパール盲人福祉協会が発足したばかりで、長期に亘る展望と政策の下に、盲人教育の充実に着手しつつある所です。アジアの最貧国といわれるネパールにおいて、困難で長期に亘るであろうその道のりへの彼らの熱意と崇高な使命感は、調査団員の等しく伝える所です。

技術研修は、今年の8月中旬から11月にかけての約3カ月間の予定です。製版機メーカーの中村点字器製作所のご協力を得て、機械の技術研修を行ない、本協会点字出版部で製版・印刷・製本技術の研修を行ないます。また、8月下旬に東京で開かれる「国際図書館連盟・盲人図書館専門家会議」からの要請で、その発展途上国シンポジウムへも参加する事になっています。

日本から海外への、点字印刷・出版に関する技術移転プロジェクトは、今回が始めてです。日本は、世界の盲人教育の歴史の中でも比較的早い時期に独自の点字組織と盲人教育を確立し、現在では技術革新による進んだ工業技術の恩恵にもあずかっています。わが国から海外へ、とりわけアジアの国々へ、その国の実情に見合った技術援助を行なう事が、早すぎるという事はないでしょう。皆様のより一層のご理解とご支援をお願いする次第です。

ネパールを訪ねて

調査団長 田中 徹二

トリチャンドラ・カレッジ付属実験学校で、見える子どもたちと一緒に、地理の試験を受けていた小学6年の女の子は全盲だった。アメリカ製の携帯用の点字器を使って、一生懸命に答を書いていた。

「地理だと地図に関する問題がてると思うけど……」

と、聞いてみると、

「地図に関する問題については、見える子とは違う問題がでています」

と、はきはき英語で答えてくれた。「そうか」と、私は納得した。

ネパール全土から選ばれた子どもたちが集まるこの学校で、統合教育を受けている盲児たちは、確かに頭がよさそうだ。だが、その彼らが手にする点字教科書は手作りなのである。盲児担当セクションの先生たちが点訳し、サーモフォームでコピーし、1冊ずつ作っているのだ。触地図などに手が回るはずがなかった。

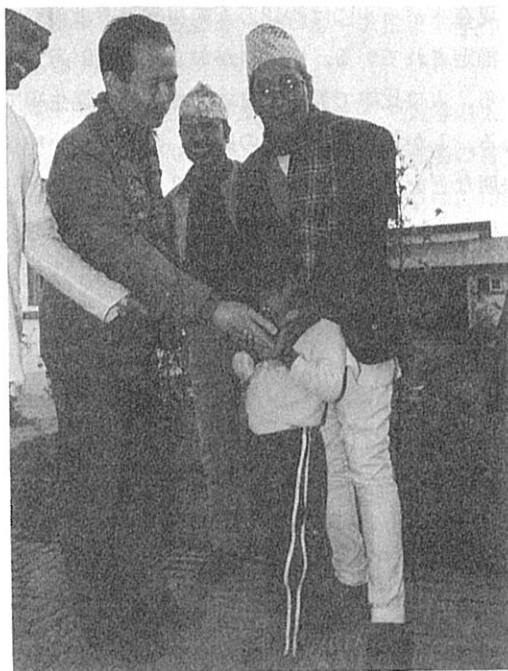
今、ネパールでは小学校1年から高校3年までの10学年に、120人近くの盲児が統合教育を受けている。その彼らが手にできる教科書は、数人に1冊の割でしかない。ネパール盲人福祉協会では、5年先には、盲児が統合教育を受けられる学校を、現在の10校から82校にふやす計画を持っている。点字教科書の出版の必要性が高いことを、私は思い知らされた。

わが国でも古くは杉山和市、新しくは中村京太郎、岩橋武夫など盲目の先覚者の出現は、盲人の世界に大きな刺激を与えた。幾多の盲人が盲学校を建て、盲児の教育に情熱を燃す一方で、幾多の盲人が福祉事業にも手をそめ、盲人全般の生活向

上に寄与した。

ネパールの盲人の世界は、今黎明期にある。早く盲人の先覚者を育てなければならない。そのようなパイオニアが生まれるための基礎は、幼いころからの教育にある。その教育を、私たちのささやかな援助で支えてあげることができるのだ。

カトマンズを飛び立つとき、私の網膜にヒマラヤの勇姿は映るべくもなかったが、10年、20年先のネパールの盲人事情が、どのように変わっているだろうかと、私の胸は、雄大な計画が始まろうとする期待にふくらんでいたのだった。



カゲンドラ・ニューライフセンターで会った、盲聾・啞の三重障害の子供。

ネパールの盲人とその教育

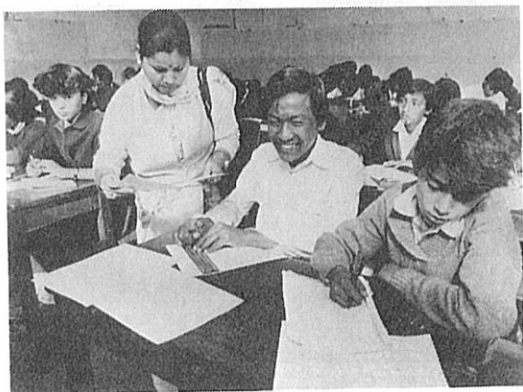
海外盲人援護事業事務局

野崎 泰志

1985年12月8日カトマンズに到着、16日に離れるまでの9日間、東京都心身障害者センターの田中徹二氏を団長とし、毎日新聞社写真部の山田茂雄氏をまじえた三人の調査団は、受入側の精力的かつ周到な過密スケジュールに追われながら、無事に調査を行なうことができた。私たちを歓迎してくれたネパール盲人福祉協会が、母体のネパール障害者盲人協会から独立したばかりで、ネパールでは今、盲人福祉対策が本格的に始まったばかりであった。

一 失明と絶対的貧困

現在ネパールには約13万人の視覚障害者がいると推定されている。総人口がおおよそ1,600万人だから、人口比率で言えば日本の約三倍の発生率である。しかし、平均寿命の違い、日本に多い中途失明などを勘案すれば、単純に3倍とするわけにはいかない。それは、失明原因を見れば想像がつく。



試験中のカトマンズのトリブバン大学付属実験学校。目の見える生徒と同じ教室で勉強する。

- 1位 白内障
- 2位 緑内障
- 3位 トラコーマ
- 4位 栄養障害（眼球乾燥症）
- 5位 外傷

この内、栄養障害は複合的な原因でもあり、例えば、栄養障害からくる早老そして白内障、外傷や疾病からの回復が栄養不足によって遅れ、結果的にもたらされる失明など、ほとんどの失明原因に関わっている。

眼科医で、ネパール盲人福祉協会の会長であるプラサド博士は、「ネパールの失明原因とその予防」と題する論文の冒頭で、概況に触れている。

「国民の96%が農村地域に居住し、識字率は24%、平均寿命46才、1年以内の乳幼児死亡率52%、幼児の死亡原因のトップは胃腸炎、国民の40%が1日2ルピー（20円）以下の収入でいわゆる飢餓ライン以下の生活をし、全国の医者数は450人」

（1982年1月、「盲人の指導者をめぐる、第一回ネパール全国ワークショップセミナー」における報告）

カトマンズにある眼科専門病院アイホスピタルの資料によれば、ネパールの盲人の84%は手術や投薬などの適切な処置が与えられれば、光をとるもどすことができるとされている。実際、各地で行なわれるアイキャンプの開眼手術で、毎年1万人もの盲人が救われている。これは、日本のアジア眼科医療協力会をはじめとする各国の援助によって年間50箇所ほどで精力的に実施されているが、失明の波はその後を追うようにして発生し、



元気に追いかける盲児童たち。鈴の入ったボールを
ポカラのアマルシン中学校。鈴の入ったボールを

予防対策の強化が急務とされている。手術などで救えない残りの16%の盲人は、トラコーマや天然痘などの予防が万全であれば、元来失明に至らなくてすんだ人々であると云う。

ユニセフによれば、栄養不足（ビタミンA）で失明する子供は、世界で毎年25万人。そしてその予防に必要な費用は、1人当たり1年間で約10円である。ネパールでも、失明との闘いはまず貧困との闘いなのである。

二 盲教育の現状

ネパールの盲教育は全て統合教育方式である。全国に今10校あり、約120人の盲児童が教育を受けている。6才から16才までの学齢期の盲児が、全国で約3万8千人と推定されている内の、ごくわずかの子供たちである。ネパール盲人福祉協会は、昨年、盲教育拡充計画を立てた。それによると、5年後には盲教育セクションを持つ学校を82校に増やし、受入れる児童を650人に増やすことになっている。その為に、ネパール唯一の大学・トリブバン大学に、盲教育教員養成コースを一昨年開設した。第1期の修了生は4名。昨年の第2期は、7名が訓練を受けていた。それにあわせて、それ

まで4校しかなかった統合教育を行なう学校を、昨年だけで6校増やしている。また、教材を作る点字印刷所を、協会の中に設けたが、点字タイプライターと型押式のサーモフォームによる手作りである。

カトマンズ郊外にある、トリブバン大学のトリチャンドラ・カレッジ・実験学校で、9名の盲児童を対象に初めて盲教育が始められたのは、1965年である。現在は、約1,800人のうち40人の盲児が学んでいる。小中高とあるが、盲児を受入れる高校はここしかなく、毎年10倍の競争率という難関を突破して優秀な盲児が集る。ネパールでは学力的に大変難しい大学進学を果たす生徒も例年何人か現れ、現在10数名が大学で学んでいる。中には大学院を卒業するものも出始めている。この学校はネパールの代表的なエリート校のようである。盲人の先生方も大変優秀な方々ばかりであった。

カトマンズの西200キロ、アンナプルナ連峰が、あざやかな白い姿を背景に見せるポカラにアマルシンスクールはある。中学までのこの学校は、生徒数約800人、盲児24人の、地方の標準的な統合教育校である。1人を除き、盲児は寄宿舎生活であ

る。点字を覚えたり学校生活に慣れる為の期間が1年、その後、普通学級へ編入される。教科書はここでも手作りである。私たちが歌や踊りで歓迎してくれた彼らは、明るい上に大変しつづけが良い。歌の上手な男性の音楽の先生も盲人であった。ラジオにも出たことがあると云うこの先生が、彼らの自慢である。その日、何人かの盲児は、課外授業のキャンプへ出かけた。他の子供たちと同じボーイスカートのような制服を着て、自分のリュックを背負い、それぞれ友達に手引きをしてもらいながら楽しげな表情をしている。整列して私たちに挨拶をしたあと、一列縦隊になって行く彼らの歌声は、抜けるように青い空に吸い込まれていくようであった。そして白いヒマラヤはじつとそれらを見下ろして静かだった。

三 ネパール盲人福祉協会

発足したばかりのこの協会は、カトマンズ市内の古いお寺の一角に寄寓していた。人や車が行き来する中を、このお寺に住む猿の集団がヒョイヒョイと跳び回り、犬とにらめっこしていたりする。廃屋寸前というよりも、実際半分ほどは崩れ落ちレンガの山になっている。残った部分の幾部屋かが、輝かしいスタートを切った協会の最初の拠点なのである。ほとんど垂直の忍者屋敷のような階段を身をよじりながら登ると、明るい小さな部屋になっていて、人々が待っていた。私たちは遂に、この国の福祉に夜明けを告げ、長い将来に亘る道のりを歩き始めている指導者達に会うことができたのである。

ガネシュ・ラジャ・シン教授は、ネパール障害者盲人協会の会長であるが、どなたかの紹介では、この世界の蔭の人物であるという。この会長のラクシミ・ナラヤン・プラサド博士とともに、ネパール国際障害者年委員会の重要メンバーである。プラサド博士は、先の盲人指導者セミナーの委員長であり、「ネパール障害者症例概観」の発行責任者でもあった。協会には、3人の若い専門職員がいて、統合教育部、技術開発部、点字印刷部を

それぞれ受け持っている。彼らは皆大学卒で、インドで専門の訓練を受けて来た。

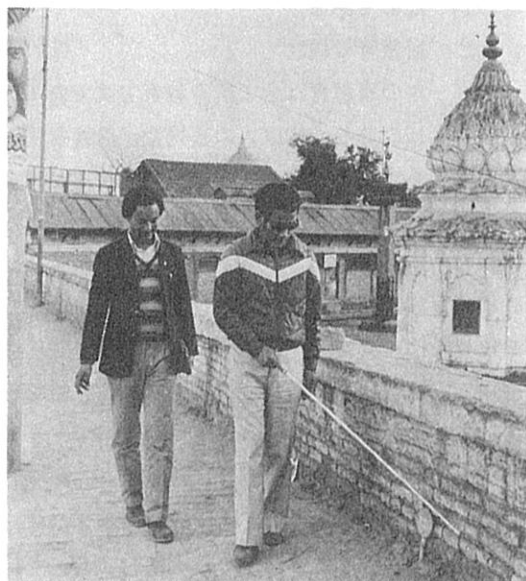
今回ネパールへ調査に行く時に、私たちが最も関心を持っていたのは、ネパールの人々が、盲人福祉をどのように考え、どのような自主的な展望と実践を持っているか、ということであった。

仮に何らかの援助を始めるとして、何が最も必要とされているのか、そしてその為のプログラムを確実に推進できる組織があるのかどうか、それが調査の最終目的だと言っても、過言ではない。

ネパール盲人福祉協会の人々と、それを支える人々の輪は、私たちの期待に充分に応えるものであった。障害者福祉を献身的に進めている関係者の努力は、誠に感動的ですからある。

ネパールの盲人の実情、それは私たち調査団が見聞きしたというより、ネパールで福祉に携わる人々のまなざしが見守っている実情である。障害者はネパールでもそうして風景の中へ発見され、関わりの対象になってきた。

障害は神の呪いとして、偏見と抑圧の壁の向こうへ追いやられて来た人々を見出し、この世で自立して生きていく勇気を持つよう励まし続ける人々の中で「ネパールの神々」も生まれ替わりつつあるのかもしれない。



カトマンズ市内での歩行訓練

昭和60年度会計報告

自 昭和60年4月1日

至 昭和61年3月31日

収入の部

支出の部

項 目	金 額	項 目	金 額
協賛金収入	2,751,000	事務費	370,000
寄付金収入	1,437,794	旅費	50,500
雑収入	187,064	事務消耗品費	14,000
預り金	20,831	印刷費	50,479
繰越金	5,403,957	会議費	90,808
		通信費	531,613
		雑費	142,032
		借料損料	788,800
		人件費	1,077,051
		アルバイト料	75,150
		職員給与	1,018,325
		法定福利費	5,591,888
		事業費	788,800
		海外出張他	5,591,888
		次年度繰越金	9,800,646
合 計	9,800,646	合 計	9,800,646

寄付者ご芳名 (50音順・敬称略)

浅田 幸 (兵庫県)	大岡 信 (東京都)	門馬 彬 (宮城県)
阿曾 寿 (大阪府)	大竹 省二 (東京都)	金沢 秀憲 (福岡県)
阿久津章治 (東京都)	太田 義秋 (東京都)	金田 一郎 (東京都)
東 加代子 (東京都)	大谷 宗太 (埼玉県)	金田 正一 (東京都)
荒木 久子 (東京都)	大橋東洋彦 (京都府)	河合 良治 (東京都)
飯田信太郎 (東京都)	大本印刷(有) (東京都)	川喜多二郎 (東京都)
井口 淳 (東京都)	岡崎 惣吉 (滋賀県)	川口松太郎 (東京都)
石井 桃子 (東京都)	岡部 冬彦 (埼玉県)	神崎 栄介 (東京都)
石川善之助 (福岡県)	岡本 美雄 (大阪府)	神崎 武子 (鹿児島県)
石川 保司 (大阪府)	小河 静 (兵庫県)	神崎 博 (愛知県)
石川 昌宏 (大阪府)	小川 元 (千葉県)	菊池 良二 (鹿児島県)
石原 幸栄 (神奈川県)	萩 昌弘 (東京都)	木下 益人 (東京都)
泉 大八 (東京都)	奥野 茂 (埼玉県)	木下 信行 (愛知県)
出光 永 (東京都)	尾関 育三 (東京都)	木村 龍平 (和歌山県)
今川 勇 (福井県)	鹿島 和子 (東京都)	汲田 冬峯 (東京都)
内田 和子 (東京都)	片岡 義男 (東京都)	黒崎 久 (東京都)
内山 武史 (愛知県)	片山 文彦 (東京都)	小池 一夫 (東京都)
内海 重典 (兵庫県)	桂田 淳一 (東京都)	国立リハビリテーションセンター 学友会
N・H (滋賀県)	加藤 晃 (愛知県)	(埼玉県)
大芦さやか (東京都)	加藤 泰久 (東京都)	古今亭志ん朝 (東京都)
大工原昭一 (長野県)	加藤 芳郎 (東京都)	小島 美子 (東京都)

五島 秀雄 (富山県)	東京ヘレンケラー学院57年度卒業生	三角 和夫 (埼玉県)
児玉 義男 (埼玉県)	(東京都)	三平 勇 (東京都)
小林 啓子 (長野県)	鳥羽田 熙 (東京都)	南 博 (東京都)
小森田一記 (東京都)	富岡 定夫 (千葉県)	宮原満洲男 (大阪府)
金剛 巖 (東京都)	富鹿 克彦 (大阪府)	峰尾敬之助 (静岡県)
近藤 文郷 (兵庫県)	中川 童二 (東京都)	武蔵野女子学院
斉藤 正一 (東京都)	中川 幽芳 (東京都)	中学高等学校生徒会 (東京都)
坂入 操 (神奈川県)	中竹 茂 (宮崎県)	村山 敏行 (東京都)
佐古井貞行 (埼玉県)	長沢 一男 (埼玉県)	村山 知子 (東京都)
笹山 明 (東京都)	長島 達也 (東京都)	モハメッド・イクバル・ハニフ
サトウサンペイ (東京都)	永島まち子 (群馬県)	イクバル・明子 (東京都)
佐藤 純弥 (東京都)	長瀬 弘 (東京都)	守橋 明德 (神奈川県)
佐藤 久夫 (神奈川県)	長瀬 龍太 (東京都)	森本 哲郎 (東京都)
三遊亭小遊三 (東京都)	中村 歌子 (静岡県)	柳家小さん (東京都)
塩月弥栄子 (東京都)	中山 弘子 (大阪府)	藪内 清 (京都府)
塩屋 賢一 (東京都)	錦紙商事 株式会社 (東京都)	山下 武夫 (東京都)
春風亭柳昇 (東京都)	日本新聞インキ 株式会社 (東京都)	ヤマトアドサービス 株式会社 (東京都)
株式会社 錦彰 国 社 (東京都)	錦日本メディックス北海道販売 (北海道)	湯川れい子 (東京都)
昭和橋キリスト教会 (愛知県)	丹波 正明 (千葉県)	養老 美雄 (東京都)
新福 三郎 (神奈川県)	入善町収入役 (富山県)	米田 昌徳 (奈良県)
株式会社 人文書院 (京都府)	八田 公雄 (神奈川県)	ロビン・レストール (東京都)
末吉 恵理 (東京都)	花田 重信 (千葉県)	若林 弘子 (東京都)
菅原 温子 (東京都)	塩谷 雄高 (東京都)	早稲田鍼灸専門学校 (東京都)
杉山 嘉信 (東京都)	林 大 (東京都)	渡辺 睦久 (東京都)
鈴木 俊一 (東京都)	林 道夫 (東京都)	和田 文子 (東京都)
全国病院理学療法協会 (東京都)	端山 智弘 (東京都)	
曾野 綾子 (東京都)	ひかりのくに 株式会社 (大阪府)	
田井 基嗣 (東京都)	平塚 尚一 (千葉県)	
台湾省盲人福利協進会	福原 昇 (岡山県)	
高井 富子 (富山県)	藤井 誠司 (神奈川県)	
高橋 重雄 (長野県)	藤木 久男 (東京都)	
高橋 通子 (東京都)	富士梱包紙器 株式会社 (東京都)	
高松キワニスクラブ (香川県)	藤本 一成 (埼玉県)	
多岐川 恭 (東京都)	株式会社 婦人画報社 (東京都)	
但木 台市 (埼玉県)	古市 寛 (香川県)	
田中 徹二 (東京都)	保坂 昇 (東京都)	
田中 寿 (神奈川県)	前沢 絢子 (香川県)	
田中 雅治 (東京都)	前田 休 (千葉県)	
田中 亮治 (東京都)	前原 勇 (東京都)	
田辺 聖子 (兵庫県)	榊 幸雄 (広島県)	
谷池 教子 (東京都)	増田 守男 (兵庫県)	
谷川俊太郎 (東京都)	松江ワシントンホテル (鳥取県)	
谷口 朝夫 (大阪府)	松尾 紀良 (東京都)	
津上 忠 (東京都)	松倉 昭二 (東京都)	
土田利久太 (東京都)	松野 良吉 (大阪府)	
津村哉雅子 (東京都)	三木 淳 (東京都)	
津山 直一 (埼玉県)	三鬼陽之助 (東京都)	

募金箱

株式会社 飯田百貨店
 東京ヘレンケラー協会募金箱
 山田流箏曲会 (第57回)
 ライン・ゴールド高田馬場店
 渡辺石油

協賛者ご芳名

(50音順・敬称略)

自 昭和60年4月1日

至 昭和61年3月31日

アールエーシステム (長野県)
 アイミー電子工業 (群馬県)
 青森ガス (青森県)
 青柳自動車工業 (東京都)
 阿含宗東京本部 (東京都)
 秋枝病院 (東京都)
 浅草信用金庫 (東京都)
 朝日信用金庫 (東京都)
 アサヒ交通 (東京都)
 麻布教育センター (東京都)
 味の素川崎工場 (神奈川県)
 ㈱アスキー (東京都)
 アスモ㈱ (静岡県)
 阿部商事 (神奈川県)
 有賀信男 (東京都)
 有栖川スタジオ (東京都)
 有田商事 (神奈川県)
 アルファ電子 (東京都)
 粟津農協 (石川県)
 安藤証券 (愛知県)
 あんど呉服店 (石川県)
 飯野学園さかえ幼稚園 (栃木県)
 井坂 啓 (茨城県)
 石黒建設 (石川県)
 石島胃腸病院 (千葉県)
 石津建材㈱ (茨城県)
 石谷建設工業 (石川県)
 おでんち山荘 (長野県)
 小原流本部 (東京都)
 オリエンタル写真商事 (東京都)
 海外経済協力基金 (東京都)
 貝出繁之 (青森県)
 貝取クリニック (東京都)
 花王 ㈱ (東京都)
 柏木俊彦 (東京都)
 柏南病院 (千葉県)
 勝山生コンクリート (福井県)
 加藤義樹 (東京都)

神奈川相互銀行 (神奈川県)
 カネボウ化粧品富山 (富山県)
 兼松セミコンダクター (東京都)
 カルビー (東京都)
 カルピス労組 (東京都)
 カルピス食品工業 (東京都)
 川崎大師平間寺 (神奈川県)
 ㈱川 辺 (東京都)
 神慈秀明会 (京都府)
 関東第一高校 (東京都)
 神東実業 (東京都)
 関東自動車工業労組 (神奈川県)
 関東開発㈱ (東京都)
 学力開発センター (東京都)
 ㈱岸 勝 (東京都)
 ㈱岸 田 (東京都)
 北関東道路安全㈱ (茨城県)
 鬼怒川ゴム工業 (千葉県)
 木原 勉 (長野県)
 ㈱紀 文 (東京都)
 九州ガス (長崎県)
 教育同人社 (東京都)
 京都外語大学 (京都府)
 金城短期大学 (石川県)
 岐阜瓦斯 (岐阜県)
 岐阜経済大学 (岐阜県)
 暁星学園慈善会 (東京都)
 鯨 水 産 (茨城県)
 熊本典道 (東京都)
 クラヤ薬品 (東京都)
 ㈱グラフィカ (東京都)
 群馬電子計算センター (群馬県)
 京王技術工業 (東京都)
 京急開発 (東京都)
 敬天堂歯科医院 (静岡県)
 京葉重機工業 (千葉県)
 気仙沼スーパーマーケット (宮城県)
 見城美枝子 (東京都)

甲子羽電機 (神奈川県)
 神津システム設計 (東京都)
 校正出版社 (東京都)
 光文書院 (東京都)
 光葉企業 (千葉県)
 国語作文研究所 (東京都)
 国際アニメ研究所 (東京都)
 金刀比羅宮 (東京都)
 小松川ガス (静岡県)
 小松エンジニアリング (石川県)
 小松ウォール工業 (石川県)
 ㈱コムデ・ギャルソン (東京都)
 コヤマドライビングスクール 網島 (神奈川県)
 昆米穀店 (岩手県)
 コンフェクショナルコトブキ (兵庫県)
 合同酒精 (東京都)
 ㈱互助センター (京都府)
 作加藤商店 (神奈川県)
 作新学院図書館 (栃木県)
 桜田病院 (青森県)
 笹島工業 (富山県)
 サッポロビール (東京都)
 サツマ興業 (千葉県)
 サニーカントリークラブ (長野県)
 サロメラライター㈱ (東京都)
 産業能率大学 (神奈川県)
 参天製薬 (大阪府)
 ㈱サンヘルス (福島県)
 三洋証券 (東京都)
 三洋電機 (大阪府)
 滋賀高原観光開発 (長野県)
 システムエイジ㈱ (東京都)
 静岡英和女学院 (静岡県)
 シズメ歯科医院 (神奈川県)
 資生堂労組 (東京都)
 ㈱シチズン電子 (静岡県)
 信濃空圧工業 (長野県)
 ㈱四方組 (富山県)

- 清水 徹 (東京都)
 下田ガス (静岡県)
 下平金物 (東京都)
 社会調査研究所 (東京都)
 集英社 (東京都)
 淑徳学園 (東京都)
 主婦の店鶴岡店 (山形県)
 昭栄化工 (東京都)
 湘南カントリークラブ (神奈川県)
 昭和女子大学中上部 (東京都)
 白菊酒造 (茨城県)
 白沢電気 (栃木県)
 新宿新都心開発協会 (東京都)
 新南駿病院 (静岡県)
 真如院 (東京都)
 伸和製菓 (東京都)
 自交総連 (東京都)
 自交労神奈川本部 (神奈川県)
 ジャパンスペシャリティプランズ (神奈川県)
 十全会 (石川県)
 順心女子学園 (東京都)
 女子聖学院短大 (埼玉県)
 杉田製線工業 (東京都)
 鈴木歯科医院 (群馬県)
 スズキ新潟販売 (新潟県)
 鈴木 実 (茨城県)
 鈴木歯科医院 (栃木県)
 鈴木組 (静岡県)
 住井すえ (茨城県)
 住友スリーエム (東京都)
 駿台予備校 (東京都)
 聖カタリナ女子高校 (愛媛県)
 セイキ工業 (埼玉県)
 誠之会病院 (茨城県)
 正則学園高校 (東京都)
 西部農協 (埼玉県)
 瀬尾整形外科医院 (静岡県)
 世界浄霊界 (東京都)
 関彰商事 (茨城県)
 専修大学付属高校 (東京都)
 セントラルプラザ奈良屋 (千葉県)
 セントラルスポーツ (東京都)
 全交連 (東京都)
 全国通信建設労組 (東京都)
 全国理容衛生組合連合 (東京都)
 相互ビルディング (東京都)
- 総合警備保障 (東京都)
 銚子ソフィア (群馬県)
 ソフトウェアコントロール (東京都)
 空知信用金庫 (北海道)
 ソントン食品 (東京都)
 大成証券 (東京都)
 太知商事 (東京都)
 台糖ファイザー (東京都)
 大平工業株式会社 (秋田県)
 太平洋証券 (東京都)
 大鵬薬品工業 (東京都)
 高勝ハウジング (宮城県)
 高崎ハム (群馬県)
 高峰三枝子 (東京都)
 多賀看護婦家政婦紹介所 (茨城県)
 竹田土建 (石川県)
 武田製作所 (東京都)
 銚子武富士 (東京都)
 立川市公営競技事業部 (東京都)
 立川プライド工業 (東京都)
 竜の子プロダクション (東京都)
 田中電機製作所 (東京都)
 田中脳神経科 (東京都)
 多摩ヤクルト販売 (東京都)
 田村薬品 (岩手県)
 第一企画 (東京都)
 第一相互銀行 (東京都)
 第一スーパー (茨城県)
 第一ラジオアイストープ (東京都)
 銚子大黒屋 (栃木県)
 ダイセル化学工業 (大阪府)
 大東カカオ (東京都)
 大新潟カントリークラブ (新潟県)
 大和証券従組 (東京都)
 ダックスインターナショナル (東京都)
 千歳農協 (東京都)
 千葉県高校教組 (千葉県)
 中京大学 (愛知県)
 中央ナショナルデータ (東京都)
 中外製薬 (東京都)
 銚子信用金庫 (千葉県)
 千代田火災保険 (東京都)
 千代田計装 (神奈川県)
 つじはる商店 (石川県)
 鶴見屋商店 (宮城県)
 銚子テーオーシー (東京都)
- T D K 株式会社 (東京都)
 寺内大吉 (東京都)
 天神屋 (静岡県)
 電気化学工業 (東京都)
 電源開発 (東京都)
 東映動画株式会社 (東京都)
 銚子東海 (静岡県)
 東海金属 (神奈川県)
 東海大学医療技術短大 (神奈川県)
 東京スクールオブビジネス (東京都)
 東京印刷紙器 (千葉県)
 東京都競輪事業組合 (東京都)
 東京ビジネスカレッジ (東京都)
 東京専売病院 (東京都)
 東京家政大学 (東京都)
 東芝労組 (東京都)
 東芝EMI (東京都)
 東邦生命保険 (東京都)
 東北工業大学 (宮城県)
 東北電力 (宮城県)
 東北石油 (宮城県)
 東洋酸素化学 (千葉県)
 東洋物産 (宮城県)
 東洋水産株式会社 (東京都)
 東洋エンジニアリング (千葉県)
 東和証券 (東京都)
 ときわ堂薬局 (東京都)
 徳寿工作所 (神奈川県)
 特別区競馬組合 (東京都)
 銚子豊島園 (東京都)
 栃木商工会議所 (栃木県)
 トット基金 (東京都)
 トナミ運輸 (富山県)
 外山工業 (新潟県)
 富山県商工会連合会 (富山県)
 同樹会結城病院 (茨城県)
 童門冬二 (東京都)
 動力炉核燃料労組 (東京都)
 内藤電誠工業 (神奈川県)
 中田輪業 (東京都)
 中塾酢店 (愛知県)
 中丸荘一郎 (神奈川県)
 中元信武 (東京都)
 永田 誠 (東京都)
 長野県信用組合 (長野県)
 那須ゴルフクラブ (栃木県)

並河萬里 (東京都)	日本勸業角丸証券 (東京都)	ビッグスギエンタープライズ (東京都)
習志野鉄工団地協 (千葉県)	日本興業株 (東京都)	深沢信夫 (東京都)
奈良林祥 (神奈川県)	日本債券信用銀行 (東京都)	深山産業 (栃木県)
南光学園 (宮城県)	日本サンライフ株 (東京都)	福田医院 (栃木県)
新潟燃商 (新潟県)	日本証券金融 (東京都)	富士ゼロックス (東京都)
新潟いすゞモーター (新潟県)	日本スクイブ株 (東京都)	富士精機工業 (東京都)
西尾孝幸 (東京都)	日本ゼオン株 (東京都)	藤井真人 (東京都)
西相信用金庫 (神奈川県)	日本大学三島高校 (静岡県)	株富士経済 (東京都)
西東京三菱自販 (東京都)	日本マネージメントアカデミー (新潟県)	富士スーパー (神奈川県)
西宮酒造 (兵庫県)	日本ユニパック (東京都)	富士通マイコンシステム (神奈川県)
日米運輸倉庫 (神奈川県)	沼津学園高校 (静岡県)	富士通労組川崎支部 (神奈川県)
株日米パッキング 製作所 (東京都)	塗屋商店 (栃木県)	富士通商株 (東京都)
日佑電子 (新潟県)	株ノーリツ (兵庫県)	富士フィルム労組 (神奈川県)
日機装株 (東京都)	野沢米穀店 (東京都)	古沢電機株 (東京都)
日教組 (東京都)	野村証券 (東京都)	文化女子大室蘭短期大学 (北海道)
日興機械 (東京都)	秦野回収センター (神奈川県)	文化シャッター株 (東京都)
日光商品株 (東京都)	服部セイコー (東京都)	株文祥堂 (東京都)
日興証券 (東京都)	ハニーミルク (神奈川県)	プラザトキワ (東京都)
日産サニー千葉販売 (千葉県)	浜田印刷機 (大阪府)	ヘムインターナショナル (東京都)
日新工機 (山梨県)	早川ダット工場 (東京都)	平和学園高校 (神奈川県)
日清製粉 (東京都)	葉山町観光協会 (神奈川県)	ベルシステム株 (東京都)
日新製鋼 (東京都)	原田歯科 (神奈川県)	ベンションおきつ (群馬県)
日新工機山梨工場 (山梨県)	はらだ歯科診療所 (神奈川県)	報徳学園高校 (兵庫県)
日精工エスビー機械 (長野県)	原電子測器 (東京都)	北星学園 (北海道)
日通商事 (東京都)	春山建設 (群馬県)	北菱電興 (石川県)
ニット工業株 (東京都)	バイオニア労組 (東京都)	北陸日本電機ソフトウェア (石川県)
日東工業 (東京都)	東日本学園大学 (北海道)	北陸通信工業 (石川県)
日東製粉 (東京都)	菱電サービス (東京都)	北海道拓殖銀行 (北海道)
日本ロッシュ株 (東京都)	日野車体工業 (神奈川県)	北海道薬科大学 (北海道)
日本三曲協会 (東京都)	日野自動車羽村工場 (東京都)	北海道商工会連合会 (北海道)
日本スチレンペーパー (東京都)	ひめゆり総業 (福島県)	ボーソー油脂株 (千葉県)
日本アビエム (東京都)	檜山食品工業 (栃木県)	町田重信 (埼玉県)
日本化工機工業 (東京都)	平塚競輪主催者協議会 (神奈川県)	町田蛍友会 (東京都)

ネパール盲人福祉協会会長 プラサド博士から 調査団への礼状届く——1月4日付け

櫻井安右衛門理事長殿

東京ヘレンケラー協会が、この度、我が国の盲人及び視覚障害者の為の協力関係を深める可能性を調べる為に、高度な調査団を派遣された事に対し、感謝の意を表します。

点字印刷所を作り、人材の養成を行なう件に関する私たちの有意義な討論について、既にお聞き及びのことと存じます。もし、このプロジェクトが成功すれば、盲人教育の促進計画のペースを容易に早めることになるでしょう。このプロジェクトは、日本からネパールの盲人に対する合理的で創造的な贈り物になるであろう事を確信しています。

ネパール盲人福祉協会会長
Dr. L. N. プラサド

マックス㈱ (群馬県)	明光学院 (東京都)	ユニオンソース (東京都)
松井証券 (東京都)	明星学苑 (東京都)	弓山電気 (茨城県)
松尾病院 (福島県)	㈱メッツ (石川県)	横浜女子商業学園高校 (神奈川県)
松戸進研 (千葉県)	望月建設 (東京都)	横浜共立学園 (神奈川県)
松中工業 (東京都)	茂木中央病院 (栃木県)	横山光輝 (東京都)
㈱松菱 (静岡県)	森永エンゼルカントリークラブ (千葉県)	㈱吉川組 (岐阜県)
松本歯科大学 (長野県)	㈱森八 (石川県)	吉本隆明 (東京都)
松本電器 (静岡県)	八州水産 (静岡県)	寄自動車整備工場 (神奈川県)
丸う田代商店 (神奈川県)	山口菓子舗 (神奈川県)	藍沢証券 (東京都)
㈱マルエツ (東京都)	山田洋行 (東京都)	立正佼成会埼玉支部 (埼玉県)
㈱丸誠 (東京都)	山田森一 (東京都)	龍神総宮社 (京都府)
㈱丸萬 (東京都)	ヤマト商会 (東京都)	レリアン㈱ (東京都)
丸見屋食品工業 (東京都)	大和製缶労組 (神奈川県)	ロータリー栃木 (栃木県)
㈱マルヨシ (千葉県)	山中順雅 (愛媛県)	ロッテ労組 (東京都)
三菱電気労組 (東京都)	山梨家政婦紹介所 (東京都)	若林商店 (富山県)
ミナエレクトロニクス (神奈川県)	山二証券 (東京都)	和光証券 (東京都)
ミノルタカメラ (大阪府)	ヤマハ発動機 (静岡県)	渡辺建設 (千葉県)
宮下組 (長野県)	ヤマビ液化ガス (山梨県)	渡辺富工務店 (東京都)
宮地組 (石川県)	山本看護婦紹介所 (東京都)	渡辺紙工業㈱ (東京都)
明星食品㈱ (東京都)	由田建設 (東京都)	渡辺酒造 (東京都)
三好 徹 (東京都)	㈱ユカ (東京都)	渡辺家政婦紹介所 (宮城県)
武蔵学院戸田教室 (埼玉県)	湯河原カントリークラブ (神奈川県)	和田正年 (神奈川県)
武蔵野女子学院 (東京都)	豊商事 (東京都)	
村田建設 (東京都)	ユナイテッドスチール (東京都)	

あとがき

皆様のご協力でネパールへの援助活動もやっと開始する運びとなりました。改めてお礼を申し上げます。

今回は、毎日写真ニュースを通じて行っています「アジアの盲人に愛の灯を」キャンペーンへご協賛いただいた方々のご芳名と、当協会へご寄付をお寄せいただいた方々のご芳名を掲載させていただきました。『愛の光通信』の発行が大変遅くなりましたことをお詫び申し上げます。今後は皆様のご意見ご感想を含めたバラエティーに富んだ通信にしたいと思っていますので、是非お便りをお寄せ下さい。

尚、写真は毎日新聞社に提供していただきました。撮影は、写真部員の山田茂雄氏です。御好意に改めて感謝します。

(文責、Y.N)



**TOKYO
HELEN KELLER
ASSOCIATION**

社 会 東京ヘレン・ケラー協会
福 祉 法 人
海 外 盲 人 援 護 事 業 事 務 局

〒160 東京都新宿区大久保3-14-4

毎日新聞社早稲田別館内

TEL (03) 200-1310

郵便振替 東京5-91688

銀行口座 三井銀行 新宿支店 普通預金 5101190